講演要旨

転機に立つ国連と日本

軍縮担当国連事務次長
阿部信泰氏

最近の軍縮問題というのはなかなか難しい状況にあって、この五月に国連本部で核非拡散条約の会議があったが参加者の対立が厳しく、何の結論もまとめられず、核の削減も何の方針もだせなかった。

基本的には核軍縮か、アメリカなど非常に緊急性に駆られた国々が集まって少数でもいいからやるという一国主義の方向とのせめぎ合いがある。

この多国間主義と一国主義との対立が核非拡散会議でも根底にあり、イラクの濃縮ウラン、北朝鮮の核にもどうするか何の結論もでなかった。

日本は自分の国の安保理入りということで安保理改革が一番の関心事となっている。その背景については、国連の経費をどういうふうに負担するか分担金の比率が決まっている。アメリカと日本とドイツこの三カ国で国連の予算のほぼ半分を、上位十カ国で四分の三を負担しており、ほかの百八十一カ国で残り四分の一を負担している。

それにもかかわらず国連の加盟国百九十一のうち、アメリカなどの先進国は今や少数となり、これに対してアジア、アフリカ、ラテンアメリカなどの非同盟諸国、あるいは開発途上国などが圧倒的に多く、総会で投票するとアメリカはほとんどの場合敗れてしまう。従って平和と安全の問題を討議することになっている安保理を十分有効に機能するようにするというのがアメリカの重要な政策目標だ。

安保理の常任理事国と言いながらフランス、イギリスでさえ分担金は日本より遙かに少ない。中国は発展途上国、ロシアは非常に少ないのに拒否権を持っている。日本とかドイツは分担金を払うのみならずいろんな平和維持活動、ODAなどに協力しているが常任理事国にならないのはおかしいのではと議論している。しかし、なかなか実現は難しく、最近はアフリカ諸国連合との妥協もうまくいかず成案ができていない。一方、アメリカなどは安保理が迅速に効果的に寄与するためにはあまり数を増やしてはいけないと反対している状況だ。

〔略歴〕昭和二十年大館市生まれ　三十九年秋田高校卒　四十二年外務省入省　五十八年外務省欧亜局西欧第二課長　平成八年国連日本政府代表部公使　十五年国連事務次長

東京芸術座の演劇鑑賞

10月19日(水)、秋田県民会館での「芸術鑑賞教室」は、東京芸術座による演劇「Challenged―遠い水の記憶の―」を鑑賞した。

内容は、水泳選手としてオリンピックへの切符をほぼ手に入れながら、最終選考会で落選した選手と盲学校の生徒との交流を通して人間の成長を描いたものである。「水泳は敵と戦うスポーツじゃない自分自身と戦うスポーツだ！」「人生で大切なことは、何を成し遂げたかではなく、どう生きたかではないか」

公演後に劇団の方々と話をする機会を得た本校演劇部の部員によると、舞台化に当たって団員たちは実際に盲学校へ足を運んだという。しかし、学校や生徒らの反応は決してよいものではなかったことや水泳の世界が果たして芝居として可能かなど、多くの不安を抱えながらのスタートであったそうだ。舞台も抽象的な設えの中に時折豆腐屋の食卓という具体的空間を入れるなど、観客との接点を取り入れようとする工夫の跡が見られた。

公演の度に改善・工夫を重ねてきた団員たちの試みもまた一つのChallengedであるように感じた。

社会福祉法人 サンふくし会
知的障害者通所授産施設
サンハウス
所長
佐藤義則
(昭和30年卒)
〒010-1403
秋田市上北手荒巻字荒巻312番地
TEL 018－892－6650
FAX 018－892－6651

ひらめき・はかどり・ここちよさ
KOKUYO
コクヨ東北販売株式会社
取締役会長
岸部恵一
(昭和30年卒)
〒010-0061
秋田市卸町4丁目7番7号
TEL 018－862－6345
FAX 018－862－6460
URL http://www.kokuyo-touhoku.com/

医療法人
下山胃腸科内科医院
下山維敏
(昭和30年卒)
〒014-0014
大仙市大曲福住町2－23
TEL 0187－63－5110

電力線・ケーブル・光ケーブル
光部品・ヒーティング商品
北日本電線株式会社
取締役会長
新田目倖造
(昭和30年卒)
〒982-8511
本社 仙台市太白区鈎取字向原前6番2号
TEL 022－307－1800
FAX 022－307－1763